

# 筆山

第30号 / 2001年7月

土佐中・高等学校同窓会 関東支部会報

編集人/西岡 恒憲 (41回)

〒106-0032 東京都港区六本木3-16-12-7F 六本木司法書士合同事務所気付 TEL 03-3587-6200 FAX 03-3587-6201

E-mail : tsuruwa@mxq.mesh.ne.jp 関東支部ホームページ : <http://www2u.biglobe.ne.jp/~tsuruwa/kantosibu.htm>



衆議院予算委員会で答弁する中谷元氏 (51回生)

## 中谷元君の大臣就任を祝う

30回生 鍋島高明

中谷元君が小泉断行内閣の防衛庁長官に就任した。同窓生として心からお祝い申し上げる。派閥順送り人事ではなく、適材適所、若手抜擢の目玉人事として、最年少で入閣したことにわれわれの喜びはひとしおである。

認証式後の恒例の記念写真でも、中谷君は飛び抜けてどっしり構えており、日本国民の安全を託するに足る頼もしさをかもし出している。自衛隊での闘兵式ではきたりにのつとり、山高帽を胸に当て、堂々と闊歩する若き英姿がテレビに映し出された。思わず鳥肌立つのを覚えたのは私一人ではあるまい。

思い起こせば十数年前、赤坂「ねぼけ」で中谷君の政界進出前夜祭が催された時、魑魅魍魎(ちみもりょう)の巢食う世界に送り出すのはしのびないという感じがした。それほどに初々しかった。先ごろの「加藤の乱」では切り込み隊長をとめながら、深い挫折を味わった。思わず「殉死」という言葉がよぎったものだ。

しかし、加藤紘一會長に殉じようとする中谷君の一挙一動を小泉さんはきちんと見抜いていたのだ。中谷元という男は防衛の専門家である前に人間として共に闘える男だ。小泉首相にはそう映ったに違いない。

中谷君は介良の出身である。故郷を共にするものとして喜びは格別である。中谷君の祖父貞頼氏が遊説していた姿が脳裏に残っている。記録をひもとくと、昭和21年、戦後初の総選挙は24名が立候補する大乱戦で、貞頼氏は敗北、政界を去った。泉下の貞頼氏も孫の快拳に目を細めていることだろう。

小泉さんは施政方針演説で山本有三の「米百俵」を用いていた。中谷君には山本有三が愛唱したドイツ詩を贈ろう。「心に太陽を持って、天には雲、地には争いが絶えなかるうが！ 心に太陽を持って、そうすりゃ何が来ようと平気じゃないか！」

平成13年度土佐中学・高等学校同窓会関東支部総会及び大懇親会は6月2日(土)オリピック記念青少年総合センター「国際交流館」に於いて開催されました。約三名余の同窓生が代々木の森に参集し盛大に挙行されました。



母校からは浜田教頭先生、正木宏明先生、矢野先生にお見え頂きました。また、OBの先生方として、中澤先生、正木哲夫先生、三枝先生、平岡先生にお見え頂きました。

今年の記念講演はNHK芸能番組部エグゼクティブディレクターの島田源領氏(41回)の「紅白・クイズ・バラエティー



記念講演 島田源領さん

「テレビエンターテインメントは今」と題する底抜けに楽しい講演でした。

今年1の回生(21、31、41、51、61、71)の同窓諸氏による総会・懇親会の運営がなされました。

懇親会ではアトラクションとして「テーブル対抗歌合戦」が行われ、白熱の歌合戦を制し優勝したのは佐々木泰子さん(33回)、「川の流れのように」でした。

来年の総会は平成14年6月1日(土)に今年と同じオリピック記念青少年総合センターで開催いたします。奮ってご参加ください。

# 大懇親会

懇親会の司会は71回生



宮地支部長による来賓紹介



乾杯の音頭は中澤先生



壇上で今年卒業の新会員である76回生が紹介された



# 白熱するテーブル対抗歌合戦



順番を待つ各テーブルの代表選手



真剣なまなざしの審査員



1の回生から2の回生への幹事引継ぎ。来年は宜しく！



## 関東支部活動報告

事務局長 鶴和千秋(41回生)

関東支部の皆さん、平素は同窓会活動、支部活動にご協力頂きましてありがとうございます。事務局より今年前半の支部活動のご報告を致します。

2月24日学年幹事会が行われました。今年も50人近い幹事の方が出席され、席上8月の同窓会総会で改選される本部役員に、関東支部から副会長候補として、溝淵真清前関東支部幹事長(32回)を推薦することになりました。

溝淵さんには、関東支部の重責から開放されてより僅か一年余、母校、同窓会の更なる発展のため、再び表舞台に登場していただくことになりました。

6月2日には、恒例の関東支部総会が大盛況裡に開催されましたこと別項のとおりです。

ところで今年、関東支部名簿の改訂の年に当たっており、大石和男さん(40回)はじめ名簿担当の幹事さんが懸命の準備作業を進めておられます。支部の皆様には、今後データ更新等でご協力をお願いすることになりますので、宜しくお願い致します。

### 総会幹事を終えて

上野典子(51回生)

「乾杯、お疲れ様でした」。  
6月14日の打上げで準備幹事としての集まりはすべて終わった。「例年にも増して盛り上がった総会で・・・」との市川幹事長の声に満足そうにうなずく、「1の回生」のメンバーたち・・・。

まずは重鎮の21回と31回そして要となった個性豊かな41回の方々だ。打合せ会で「早っビールが飲みたい」と口火を切るのは「ドメーカ」の岩村さん。記念講演の講師だけでなくプロテューサーも引き受けて下さった島田さん、PCを駆使する冷静沈着な筒井さん、アルコールなしで八面六臂の活躍の鶴和さん、頼もしい編集長の西岡さん、41回生を50人も集めた明るい人柄の三宅さん、誉め上手の横



準備会の真剣な討議が続く

原さん

そして最大の呼び物「のど自慢」を成功させた61回は、まとめ役で配りの高橋君、マイクを持つとプロの司会に早変わりの岡田君と土居君、ぶっつけ本番で鐘を叩いた公文さん、プロジェクター操作で55回のご主人と熱々ぶりを披露した筒井さん。2年連続ビデオカメラを担当してくれた70回の長縄さん。



71回に至っては、15分の打合せで堂々と司会の坂田君と弘瀬君、にこやかな受付の田村・棚橋さんコンビ、そして全ての打合会に参加し照明から受付までこなしてくれた三宮君、と若さのパワーは計り知れない。

51回は、20年ぶりの急な呼び出しにも駆けつけてくれた岩田君と、大役を終え「来年の総会では今年の分も食べさせて飲むぞ」と誓つ私、祭りを終えたこれからも、この仲間らしい宴はあちこちで続いていくことだろう。

### 母校だより

学校長 森田幸雄

巖陰に鮎竿たたむ山雨かな  
傘帆

この程県内全河川で鮎漁が解禁となり、土佐路は一気に夏の気配が漂い始めました。

さて関東支部の皆様には、宮地支部長さんを先頭にまずまずご健勝の御事と存じ心からお喜び申し上げます。

本校も新学期開始から2ヶ月余り、中1、高1の新入学生諸君も順調に学校生活に馴染んでくれており、また全校を通じ県体等大規模行事も恙なく消化中でありますので何卒ご休心の程お願い申し上げます。

小泉政権発足以来1ヶ月、高い支持率に見られる如く、今度こそ政治改革の遂行をという国民的期待が膨らんでいます。そしてその目玉閣僚として中谷元氏が入閣を果されました。本県出身の、また土佐高出身者として谷川先輩に次ぐ10年目の快挙であります。皆様と共に心から祝福申し上げます。と共に分分のご活躍をお祈り致します。

それと裏腹に県内はいわゆる巨額やみ融資事件で元副知事が逮捕される等、県政史上かつてない混乱事態が続いており、先の土佐山村前収入役による詐欺行為と合わせて本県の評価を著しく陥しめてしまいました。全国に先駆けて官々接待の廃止や情報公開、教育改革に取組んできたと称する県政の実態がこれではと県民として情ない気持で一杯です。何とかこのあたりで窮状を打破し、心機一転明朗で活気に充ちた県勢の回復を希わずにはいられません。



さて本校80周年記念諸行事の遂行に際し会員各位には、物心両面に亘り積極的なご支援ご協力を賜り誠に有難うござ

ございました。また11月17日の記念式典や祝賀会、更には記念向陽祭等には多数ご参加を頂き、お陰様で総ての行事を滞りなく、且つ成功裡に終了する事が出来ました。誠に感謝の極みであります。改めて厚く御礼を申し上げます。

ところで私は80周年に關し在校生として最高の祝意を表する方途は、日頃の学習成績の向上と特に大学進学実績の飛躍であると生徒諸君の奮起を促して参りました。その期待に心え今年の卒業生諸君は現役合格率にしても、超難関校合格の面でも良い結果を残してくれました。一例を挙げれば東京大6名中現役生5、京都7名中現5、大阪9名中現7、神戸7名中現5、一橋現3、横浜国大現5、岡山19中現16等であります。また慶應、早稲田、同志社等私学難関校でも昨年の実績を大幅に凌駕しております。学校としてはこの勢いを更に発展させるべく、「一歩一歩高きに登る」を合言葉に指導体制強化に取り組んでまいる所存ですので良きご助言とお力添えを賜れば幸いです。

最後に記念事業の棹尾を飾る記念誌が予定より若干遅れ